

平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	提携講座(グローバルコミュニティ演習) (Cooperated course in Practice of the Global and Community Activities)		授業コード	L120901
担当教員名	高見 大介		科目ナンバリングコード	-
配当学年	2年(2014年度入学生のみ)	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	グローバルな視野を持つ事を目的とし、実際に熊本県阿蘇市で8月に開催されるASOグローバルワークキャンプ3泊4日(熊本市国際交流振興事業団主催)に参加する事を必須とします。移動手段は大学で用意しますが、参加費7,000円は自費負担になります。			
受講心得	ASOグローバルワークキャンプに参加し、世界中の大学生と積極的にコミュニケーションを図り、自分の視野を広めてください。また、準備として国内外の社会問題・課題を知り、解決に向けて積極的に行動が出来るように心がけてください。合宿中に開催される分科会に参加し学びます。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	希望への力 著者 興梠寛 発行 光生社 承認欲望の社会変革 著者 西尾雄志・日下渉・山口健一 発行 京都大学学術出版会			
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧め、提携講座(ボランティア概論)など			

授業の目的	本科目では、異文化と自国の文化の相互理解と実践的交流を目的とし、地元地域の文化(伝統芸能)を自ら掘り起し、体験し異文化へ輸出する事ができるようになることを目的とします。また、異文化への理解を座学で学び、実際に他国へ訪れさらに深く理解する事で相互理解の重要性を身につけることも目的とします。
授業の概要	本科目は一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団との提携により開講する提携講座です。自国の文化を論理的に展開するべく、地元地域の文化や問題課題を、深く学びます。また、仕上げとして、実際に異文化の交流を学外で実践します。それぞれの知識を実践的に学ぶとともに、各地域をフィールドにした実践活動を行うことで、将来のグローバル人材としての素養を養います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション	
	国際的な文化交流活動の意義を知る
第2週：ワークキャンプ概論① 様々な活動事例から、ワークキャンプの存在を知る。	
第3週：ワークキャンプ概論② 国際的に展開しているワークキャンプと国内の地域で活動するワークキャンプを知りグローバルとローカルの両側面を持つ考え方を身につける。	
第4週：ゲストスピーカー講話(熊本市国際交流振興事業団) ASOグローバルワークキャンプについての説明と、参加者の状況を理解する。また、世界の問題・課題の話題提供をしてもらい、理解を深める。	
第5週：地域の社会問題・課題について 大分県内の問題・課題について考える。	過疎地域・貧困・自然破壊等
第6週：ゲストスピーカー講話(熊本市国際交流振興事業団) グローバルワークキャンプ参加にあたり詳細説明を行います。	
第7週：ワークキャンプ実践①	

オリエンテーション(合宿1日目午前)	班ごとにまとめた情報の共有
第8週：ワークキャンプ実践② アイスブレイク・グルーピング・チームビルディング(合宿1日目午後)	
第9週：ワークキャンプ実践③ 分科会参加(合宿2日目午前)	分科会の内容をまとめる
第10週：ワークキャンプ実践④ 分科会参加(合宿2日目午後)	分科会の内容をまとめる
第11週：ワークキャンプ実践⑤ ワークショップ(合宿3日目午前)	
第12週：ワークキャンプ実践⑥ ワークショップ(合宿3日目午後)	ワークショップでの発表
第13週：ワークキャンプ実践⑦ 基調講演(合宿4日目午前)	
第14週：ワークキャンプ実践⑧ パネルディスカッション(合宿4日目午後)	
第15週：振り返り 社会変革に向けて学生の出来る事を考察し、世界に目を向ける	
第16週：	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	世界情勢に興味関心を持ち、それを身近に感じ意欲的に活動できる
【知識・理解】	自分の現在を理解し、他者の存在を尊重する事ができる
【技能・表現・コミュニケーション】	仲間と自分の長所・短所を理解し、補い合う事、自分の想いを言語化し相手に伝える事ができる
【思考・判断・創造】	相互理解と合意形成を図る事ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	

【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			10点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	20点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	20点

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	講義の最後にレポートを提出してもらいます。内容の理解度と自分の意見が持てたかを判断します。
発表・その他 (無形成果)	グローバルワークキャンプに参加し、世界中の大学生から多くの現状を聞き、また自国の現状を積極的に伝え、コミュニケーションをとる事を目指してください。取組状況を評価します。